

Let's 健康おきなわ21

リレーエッセイ 32

妻の健診・会社の関心

協会けんぽ沖縄支部

企画総務部長 玉城 雅人

石垣島へは、年2、3回訪問している。仕事の合間に散歩したり、海を見ている。こんなゆつたりと暮らせば健康長寿でいられるだろうな」と夢見るほど、きれいな島たいつも感じる。

しかし、沖縄労働局の調査、職場の健康診断結果で何らかの異常所見が認められる方の割合が沖縄県全体は64・7%と7年連続全国ワースト1だ。特に八重山地区は72・7%であり、突出して悪い。

沖縄県、特に八重山地区の労働者の皆様の状態は、健康長寿のイメージとは程遠い。

更に、心配なことがある。(家族(被扶養者)

の状況だ。当支部が35歳以上の(本人(被保険者)に対して実施している生活習慣病予防健診の受診率は、平成29年度は60・3%で半数以上の方が受診しているものの、40歳以上の(家族(被扶養者)が受診する特定健診の受診率は27・1%と低く4人のうち3人が受診してないという状況だ。

当支部としては、未受診者の中にこそ生活習慣の改善が必要な方が多いと考えていながら、健診を受診されていないために保健指導ができていない。

また、40歳以上の被扶養者には、奥様(配偶者)が多い。夫を含めた家族の健康生活の鍵を握って

いる方々であるため奥様の生活習慣や食習慣は家族の健康に影響しやすい。被保険者の健康状態の改善のためにも、被扶養者が受診する特定健診の受診率の大幅アップが欠かせない。

被扶養者の受診率が低いのは、被保険者のように会社から健診を受けるような指示もないため、誰からも背中を押されず自らの意思のみで受診を決めていることが一因だと想定している。

そこで、当支部では、被扶養者の特定健診について、被保険者の勤務する会社にも関わっていただきたいことから、「通称」奥様健診プロジェクトを開始した。これは、

奥様の健診に会社として可能な範囲で関わってもらおうというもので、当支部が発送する特定健診の受診案内の文書に被保険者(夫)の勤務する会社の社長のお名前を連名して発送するという事業である。基本的に会社は被扶養者の健診は重要なという意識を持ってこの事業にご賛同いただければいいというもので、事務負担はない。更に積極的に実施したいという場合には被保険者(夫)にお声掛けしていただくことになっている。

けつるとういふことを感じてもらい、健診受診を促す取組にご協力いただきたい。いつの日か、健康長寿の夢を現実に。
*【協会けんぽ沖縄支部】とは、中小企業等で働く従業員やその家族の皆様が加入されている健康保険(全国健康保険協会管掌健康保険)を運営しています。被保険者として、被保険者証の発行や保険給付、レセプト(診療報酬明細書)の点検、健診や保健指導等の保健事業などを実施しています。



けんそう君
沖縄県民の健康を増進するため
一緒に頑張るキャラクターです

「Let's 健康おきなわ21」は、八重山地区健康おきなわ21推進会議の構成機関・団体が『沖縄県の長寿復活に関する記事』を投稿しています。